

有限会社 畑田鐵工所

事業名 最新鋭レーザーパイプ加工機導入による競争力強化と働き方改革実現



CO2レーザー発振器搭載パイプ加工装置

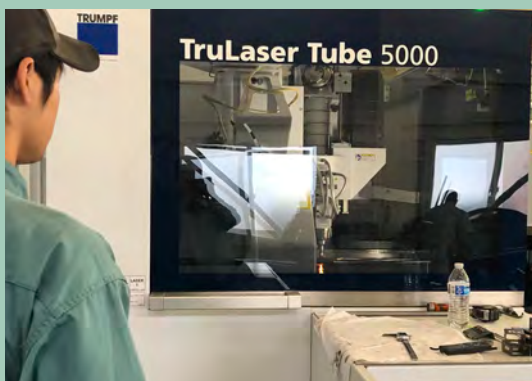
レーザーパイプ加工機による工程集約と 加工技術の高度化を実現。さらなる成長を目指す

事業の背景・目的

ここ数年、当社の強みである一貫生産体制のうち、パイプの切削工程がボトルネックとなっており、その解消と作業負担の軽減が喫緊の課題であった。そこで、最新鋭レーザーパイプ加工機を導入することにより、それら課題の解消を目指した。それと同時に、パイプ加工技術の高度化による競争力獲得も目指した。

事業内容

同機の特徴である「フレキシブルかつ精密な多工程加工」および「長時間自動運転」を活かして、今後も増加する農業用機械メーカーからの様々なニーズに応え、受注拡大を実現する。また、設備導入により発生する余剰人員の部署移動・増強、余裕時間によるOJTの遂行、品質向上活動、新製品開発に取り組み、社員が生き生きと働ける職場環境づくりを同時に進める。



レーザー加工部



高精度加工を実現

事業の成果

当初の目的どおり、パイプ加工工程の集約化と自動化、高速化を実現した。同機導入前に旧工程の機械を担当していた複数社員は、全員が他部署の補強人員となるなど、会社全体での社員負担の軽減、生産能力の向上にも寄与している。

また、パイプ加工技術の高度化によって、質量様々なニーズに柔軟に応えられるようになり、お客様の高付加価値化に貢献できた。これらの結果、既存顧客の受注拡大と新規顧客の開拓につながるとともに、働き方改革の推進にも大きな効果があった。

今後の展望

同機導入後の消費税増税、長引くコロナ禍などもあり順風満帆とは言えないが、同機の活躍もあり着実に業績を伸長できている。主力事業である農業機械分野等でのさらなる受注拡大と新分野開拓を目指し、現在、2D・ファイバーレーザー切断機の導入準備を進めている。世界情勢やエネルギー価格・材料費の高騰等を始め、さまざまな不安要素があるが、経営人材の育成、多能工化の推進、省エネ化の推進、積極的なDXを行い、今後もお客様に喜ばれるものづくりに会社一丸となって取り組んでいく。

有限会社 畑田鐵工所

- 代表者：畑田 一志
- 設立年：1988年（昭和63年）
- 所在地：山形県鶴岡市下清水字内田元72-40
- 資本金：500万円
- 従業員：53名
- TEL：0235-23-2412
- FAX：0235-24-3649
- e-mail：info@hatadadesu.com
- URL：https://hatadadesu.com



社屋

業務内容

主に農業用機械部品、小型建設機械部品、物流コンテナ部品、環境関連機器部品の製作・加工をしている。お客様の要望に柔軟に対応したもののづくりを心掛け、お客様に信頼される企業としてご愛顧頂けるよう、確かな品質のものづくりに取り組み続けるとともに、会社そのものの質の向上を目指して日々精進を重ねていく。